

「重症難治性喘息に対する新しい非薬物療法：気管支サーモプラスティ（BT）」

気管支サーモプラスティ：Bronchial Thermoplasty（BT）は、2015年4月に国内で保険認可を受けた新しい治療で、高用量の吸入薬でも喘息症状がコントロールできない18歳以上の重症喘息患者に対し、喘息症状の緩和を目的とした治療になります。

この治療方法は、気管支鏡を用いて気管支内にカテーテルを挿入し、電気によって気管支壁を温めることで、気管支平滑筋を収縮しにくい気管支に改善することで喘息発作を起こしにくくする画期的な内視鏡治療法です。（図1～図3を参考にしてください。）

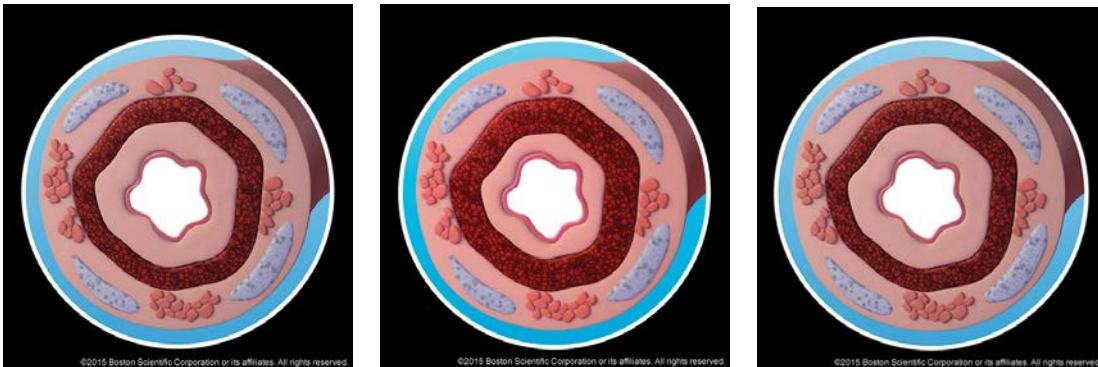


図1．健常者の気道

図2．喘息患者の気道

図3．BT治療後の気道

※図1に比べ図2では茶色の平滑筋部分が分厚くなり、収縮しやすくなっています。

図3のBT治療後は茶色の平滑筋部分は図1と同程度まで回復しています。

分厚い筋肉が収縮し続けると、気道の狭い状態が継続するため呼吸困難が起きます。

国内では約120施設、700名弱の患者さんが治療を受けております。

施術時間は30分程度で、鎮静剤を用いて治療を行うため患者さんにはより安心して治療を受けていただけます。

この治療は、肺を3つのブロックに分けて、それぞれ3週間以上空けて合計3回施術します。この治療によって、約70-80%の方に喘息治療薬の原料や喘息発作症状の緩和、救急受診や喘息による日常生活の制限が減少できると期待されています。

喘息症状でお困りの方や治療の適応につきましては、当院呼吸器内科外来にてお気軽にご相談ください。

